

あかしん

各種地図調整・印刷／地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルプス** 出版社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンゴゴヤ 6F

TEL052-931-1009 FAX052-932-1312
http://www.alpspublishing.co.jp/

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル

元氣のでてくる“ことばたち”

222

村上信夫



撮影・中川真理子

だが、祖母のしつけは容赦なく厳しいものだった。声が小さいと言っては叱られ、お辞儀の仕方や扉の開け方も何度もやらされた。言い訳すれば、「それは口答え」とにべもなかった。父も厳しかった。

「自分の世界が開けるんだからがんばりなさい」と応援してくれた。中学の先生たちが、三田さんを目覚めさせてくれたというものの、どの先生も梨園に嫁ぐと知ったときは「まさか」と思ったはずだ。中学の3人の担任は、いずれも女性。三田さんの周りには、あこがれて目標に

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」(毎週日曜10:00～)、月刊『清流』連載対談～ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>

気がする。張り詰めたところがまったくない。その素直な性格はどうやって形作られたのか問うてみた。「それはやはり、両親の影響が大きいと思います。私が何か決断するときの基準としたのは、両親です。父に相談したらどう答えるだろう、母ならどういふかなと考えて決めていました。離れている親に心配をかけたくなかったので、実際には相談せず頭の中で考えただけです。」「愛情をもって一生懸命、家族で一丸となつて生きる姿を見せてくれましたから、私がいろいろ大変なときにも、親の顔が出てくるんでしょうね。」

命3か月。最後の時間をいっしょに過ごすしながら、母がたどってきた人生を知った。母は自分が我慢しているつもりはなく、人に尽くすことが使命だと思っていた。三田さんもかくありたいと思っている。ボクと彼女との共通項は、互いに京都生まれということ。幼いころは、引つ込み思案で内弁慶というもおんなじだ。両親や祖母の躰が厳しかったというのも似ている。なのに、彼女は素直。そのおかげでいまがあると思えている。いつまでたっても素直になれないボクと、そこが違う。

空気穴からストレスが抜けていく ～女優 三田寛子さん～

就職先は成駒屋
歌舞伎界の名門、成駒屋に嫁いで25年目を迎えた三田寛子さん。去年、夫が八代目中村芝翫を、子どもたち3人もそれぞれ同時襲名した。ボクも襲名披露公演を拝見したが、三田さんが客席を回って頭を下げていた様子を見て、梨園の妻は大変だと感心した。橋之助夫人から芝翫夫人へと呼ばれ方が変わった。まだ芝翫夫人といわれるだけのレベルに達していないので、芝翫夫人と呼ばれると全身に緊張が走るんです。逆に、寛子ちゃんといわれるほうが、自然体でいられます(笑)。

「髪は伸ばすな」「ピンクの服は着な」と「人前で泣くな」と言われた。転機は中学生の時に来た。スキーと英語と宝塚の影響で、夢と元気が与えられる仕事に就きたいと思い、雑誌『セブンティーン』の読者モデルに応募し、人生が変わった。

「身内からは『まったくもう』といわれていますよ(笑)。梨園のみなさんは完璧な方ばかりで、私はどんなにがんばっても太刀打ちできないので、できなかつたら『ごめんなさい』、助けてくださいと『ありがどう』、わからないときは『教えてください』という姿勢でやってきました。」

「新人社員のときから広報や経理、社長秘書の仕事まで、やらなきゃいけないことが多過ぎて(笑)。」しかも今回は、歌舞伎界始まって以来の親子4人同時襲名だったので、休む暇もなかった。

中学で初めて英語を習ったとき、イエス、ノーとはっきりストリートにいうのがとても新鮮で外国に行きたいと思っただけ、それまでは厳格な祖母と両親にいつつられ、その世界がすべてだったが、自分の世界を自分で模索し始めた。

「素直だから、いまがある」結婚して5年間子どもが授からなかった時や、流産でつらい思いをした時も乗り越えてきた。「母の苦労に比べたら、私なんかと思えて我慢できました。京都では長男が絶対という家のしきたりの中で、次男である父に嫁いだ母の苦労を見て育ちましたから。母は父との結婚を許されるまでに10年かかり、流産を2回経験した時も、周りから母に問題があるような言われ方をしたそうです。それでもいつか明くる優しく、厳しかった祖母を最後まで介護したのも母でした。」

三田さんの空気穴
三田さんは、1966年、京都に生まれた。幼いころは、引つ込み思案で内弁慶だった。喘息もちで、身体も弱かった。

「髪は伸ばすな」「ピンクの服は着な」と「人前で泣くな」と言われた。転機は中学生の時に来た。スキーと英語と宝塚の影響で、夢と元気が与えられる仕事に就きたいと思い、雑誌『セブンティーン』の読者モデルに応募し、人生が変わった。

「身内からは『まったくもう』といわれていますよ(笑)。梨園のみなさんは完璧な方ばかりで、私はどんなにがんばっても太刀打ちできないので、できなかつたら『ごめんなさい』、助けてくださいと『ありがどう』、わからないときは『教えてください』という姿勢でやってきました。」



俳画/イネ・セイミ

「素直だから、いまがある」結婚して5年間子どもが授からなかった時や、流産でつらい思いをした時も乗り越えてきた。「母の苦労に比べたら、私なんかと思えて我慢できました。京都では長男が絶対という家のしきたりの中で、次男である父に嫁いだ母の苦労を見て育ちましたから。母は父との結婚を許されるまでに10年かかり、流産を2回経験した時も、周りから母に問題があるような言われ方をしたそうです。それでもいつか明くる優しく、厳しかった祖母を最後まで介護したのも母でした。」

「素直だから、いまがある」結婚して5年間子どもが授からなかった時や、流産でつらい思いをした時も乗り越えてきた。「母の苦労に比べたら、私なんかと思えて我慢できました。京都では長男が絶対という家のしきたりの中で、次男である父に嫁いだ母の苦労を見て育ちましたから。母は父との結婚を許されるまでに10年かかり、流産を2回経験した時も、周りから母に問題があるような言われ方をしたそうです。それでもいつか明くる優しく、厳しかった祖母を最後まで介護したのも母でした。」



人は、**ことばで磨かれる**
好評発売中
「素直」といふことが適切なと思っ
た。学生時代も、芸能界に入ってから
も、梨園に嫁してからも、縁に恵まれて
いる。みんなが手を差し伸べてくれる。「素直」が
功を奏している。
三男が20歳になると、三田さんは55歳。
そのとき、「三田寛子」としての活動も新
展開を見せるかもしれない。それまでは、
芝翫夫人と、3人の子の母と、三田寛子
のバランスをうまくとりながら、素直を
モットーに歩んでいくのだらう。

インディアンフルート教室
開講いたします
誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたが今日から「インディアンフルート」を始めるなら、この教室がおすすめです。
講師 **イネ・セイミ**
（日本インディアンフルート協会ディレクター）
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音はやさしく心に響きます。
レッスン：30分4,000円 会場：半田市柳ヶ丘
申込み 0569-89-7127
お問い合わせ ine.seimi.jp@gmail.com

私の出会った作品 (10) 杉本武之

(作者・編者不詳)
『堤中納言物語』

◎愛知教育大学で学ぶ

昭和44年(1969)12

月末に長男が誕生しました。私は「おつちゃん、おつちゃん」と呼ばれるのにも閉口しました。しかし、そのうちに慣れ、自分なりに資格を取るには三つの方法が考えられる。どこかの大学の聴講生になり教員免許取得に必要な単位を取る。京都の仏教大学などの通信教育を受ける。愛知教育大学などの小学校教員養成課程の有る大学に入学して卒業する。

私は、刈谷市内の愛知教育大学を受験することにした。英語と国語で点を稼げば、何とか合格できるのではないかと考えたのです。3カ月ほど受験勉強をしました。

昭和46年3月、若い受験生に交じって、31歳の私は入試問題に取り組みました。そして、運よく合格できました。大学の授業が始まる少し前の4月2日に、長女が生まれました。「育児の百科」を著した松田道雄が好きだったので、名前を道子と付けました。一回りも若い学生たちと一緒に勉強するのは、初め

のうちに何とか言えぬ不思議な感じがしました。また皆から「おつちゃん、おつちゃん」と呼ばれるのにも閉口しました。しかし、そのうちに慣れ、自分なりに授けの国文学演習を受講しました。『堤中納言物語』がテキストとして使われました。古文の苦手な私は、この授業に対してあまり期待を持っていませんでした。ところが、予想に反



兼好法師

一生懸命に勉強に励みまし

して、これは最高の授業でした。石川先生の博識に驚嘆するとともに、作品そのものの面白さに驚きました。何を質問しても懇切丁寧

に答えてもらえるので、私は、出来るだけの予習をし

て授業に臨みました。

4年生になった時、石川先生が東京女子医大へ転動しました。卒業論文にこの作品を取り扱うことに決めていたので、私は大きなショックを受けました。しかし、独りで頑張ろうと決意し、手に入る限りの資料を集め、この異色の短編物語集の研究に没頭しました。そして、『堤中納言物語』の編者が、あの有名な『徒然草』の作者である兼好法師ではないだろうかという仮説を立て、その裏付けをして一編の論文を書き上げまし

た。

論文が出来上がると、私はコピーして先生に送りました。先生は、着想もすばらしく、いい論文に仕上がった、と褒めてくれました。そして、数年後、「国文学 解釈と鑑賞」(昭和55年1月号)で、私の説

を紹介してくれました。

「堤中納言物語」の編者は兼好法師ではないかとする杉本武之氏の見解(愛知大における卒業論文)は、あるいは当たっているのではないかと私は高く評価している。

◎『堤中納言物語』

平安後期から鎌倉時代にかけて盛んに書かれた短編物語で現存しているのは、『堤中納言物語』に収録されている10編だけです。どの作品も、それぞれ独特の魅力を備えています。日本の文学にも造詣の深かったフランス文学者の生島遼一は、この物語の不思議な特色について、『日本の小説』の中で次のように書いています。

『堤中納言物語』は不思議な作品である。人の名が冠せられていながら、成立年代も作者も明瞭でないこともそうかも知れないが、

いが、この作品の持つ美しさというか、魅力というか、味わいというか、それ

も不思議なものである。日本の芸術的な短編小説の最古のものとして残り、これ一つ離れて異彩を放っているのも何だかおかしい。収められた10編の話の作り方を見て、典雅に整っているようでもあり、ちぐはぐであるようでもあり、古いようで新しく、不思議な文学だ。

◎『虫めづる姫君』

蝶めづる姫君の住み給ふ傍らに、按察使の大納言の御むすめ、心にくくなべてならぬさまに、親たち、かしづき給ふ事かぎりなし。この姫君の宣ふ事、人々の、花、蝶やとめづるこそ、はかなくあやしけれ。人は真あり、本地尋ねたるこそ、心へをかしかれ」と、よろづの虫の、恐ろしげなるを取り集めて、「これが成らむさまを見む」と、様々なる小箱どもに入れさせ給ふ。中に、「かは虫の、心深きさまたしたるこそ心にけれ」と、明け暮れは耳扱みをして、手の裏に添へ伏せて

まばり給ふ。

(大意)きれいな蝶を可愛がる姫君の家の隣りの、按察使の大納言の家にも美しい姫君がおり、親から溺愛されていた。この姫君は、「世間の人々は花や蝶をもてはやし愛しているがそれは無意味で馬鹿げたことだ。人間というもののは誠実な心があつて、物の本体を追究するのが良いのだ」と言つて、気味の悪い虫を集めては、その変化して行く様子を見届けるために様々な小箱に入れて飼つていた。考え深そうなお姿をしていると言つて、特に毛虫を好み、手のひらに乗せて、一日中じっと観察していた)

◎『杉本武之プロフィール』

1939年 碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。趣味は読書と競馬。



杉本武之プロフィール

この指とまれ (253) 氏原朝信

昭和52年度 四年三組の学級通信「なかよし」

班日誌を読み返してみると、子どもたちが自分の考えをもつて自分なりに行動したり、自主的に活動したりする喜びが書かれていました。これは、子どもたちの成長であるので、担任にとつてうれしいものです。

◎『班日誌より』

おやすみまちゃん(5/4)

S・T女
きょう、氏原先生のいな日でした。はぎ原先生に「よくがんばった」とほめられた。だけど、うるさかった。でも、班長は、たまたまよくやってくれた。母・みんなが先生にほめられるようにがんばったんだね。また、先生がいない時など、みんなが協力して授業を受けられるよ

トランプくん(5/13)

T・H男
そうじをやって外に遊びに行きました。そしてY・M君が「そうじの手伝いをしなければいけない」と言ったので教室にもどりま

した。そして、そうじの手伝いをしました。

*これまでもあったら、友だちのよびかけもむしして遊びがさきになつていたので、もどつてそうじの手伝いをしたことはすばらしい。うれしいね。

◎ウサちゃん(5/24)

I・S男
音楽の時間に「さみしいとさびしい」とどちらが正しいか」と音楽の先生が聞きました。ぼくは、さみしいという方に手をあげました。あとから図書室で調べてみたら、さびしいの方が正しいかった。

*そうじです/分からなかったら、ぎ間に思つたら図書室に行つて調べようというの。ありがたう。一年生の子たちは、たよりにしているだろうな。

にする。分かんずきりしてよ。

◎オオカミ(6/2)

M・Y女
朝の読書の時間に一年四組にひらがなを教えるという話を聞きました。でも少しの子がやれていませんでした。それで、四・五人の子を教えるので、私たちは四年三組の教室に帰りました。母・あなたたちの教え方が

じょうずなので一年生の子たちはよろこんでいるでしょうね。
*先生は何も言わないのに教える行つてくれるの。ありがたう。一年生の子たちは、たよりにしているだろうな。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 桜之びのかき揚げ丼

新入生、新社会人の皆様おめでとうございます!
お祝い膳の一品にオススメです。

4人分

材料

- 揚げ油…適宜
- 桜之び(乾燥)…大さじ10
桜之びはメーカーにより塩加減が違います
- ゆで大豆…1カップ
- 細ねぎor三つ葉…少々(細かく刻む)
- 小麦粉…小さじ4

4個のお茶碗やカップを用意してそれぞれを4個に分ける→菜箸でさっくり混ぜ合わせる

作り方

- ①AにBをそれぞれ大さじ2~3杯加え、さっくり混ぜる。……
- ②180℃の揚げ油にCの生地をそとすべらせる様に入れる。散らさない様に丸く寄せて、中心が火が通りにくいので、中心を菜箸でつつくようにして穴を数ヶ所あける。表面がかたまってきたら裏返しラッパと揚げる。……
- ③器にごはんを盛りDをのせ食べる直前に天つゆをかける。

◎天つゆ(揚げ物をする前に作っておくこと)
・だし汁…1カップ ・みりん…¼カップ) ひと煮立ちさせる
・しょうゆ…¼カップ ・塩…少々 →味をみる

525252

◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)
◎常滑市立図書館
らくがき展(水彩画)・十八日(日)・二十七日(木)

◎知多市子ども未来館
キッズルーム第一期 申込み
五月九日(日)同館へ
キッズルーム「さくらんぼ」
五月九日(日)・十日(月)・十一日(火)の火曜日
全十回コース 午前十時半~同
十一時半 内容「さくらんぼ」を
リズムに合わせて親子で身体を
動かそう。講師 青木アツ子
さん(親子ふれあい体験 対象
おむね二歳~就園前の子どもと
その親(二人組) 定員 二十八
組(申込み多数の場合は抽選・託
児あり) 参加費 親子一組
二千八百円(十回分・託児希望の
方は別に一人 三千円)
キッズルーム②「親子スキ
ンシップ」五月十一日(日)七月十三
日の木曜日 全十回コース 午前
十時半~同十一時半 内容「親
子でアイデア作り」身体を使っ
た楽しい遊び。講師 井筒京子
さん(対象 おむね二歳~就園
前の子どもとその親(二人組) 定
員 二十八組(申込み多数の場
合は抽選・託児あり) 参加費
親子一組 二千八百円(十回分・託
児希望の方は別に一人 三千円)
キッズルーム③「あひるの親
子」十四日(日)七月二十八日の金

誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24時間体制

(有)大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL 0569-35-4949 (代表)

FAX 35-4911

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (72) 岡田 清治

嫁の就職2

真三は三つの束の一つを手にとった。時系列的にどうなっているのかはよくわからない。ある種のメモに近いものだ。よく見ると二つの束を一つにまとめていることがわかった。筆跡からしてかなり気持ちが高ぶって思い詰めている風に真三は感じた。健太郎を説得する時にこのメモを手に入れたら、もっと説得力を発揮できたのではないかと思ったりした。

真三はメモに目を通す前にテーブルの対面にいる裕美に目を向けた。彼女はややうつむき加減な姿勢で時折、コーヒーカップを口に運び、真三の感想を待つ風であった。

メモにはまずテーマが「生きがい・仕事」とあった。これは明らかにそのあとにメモと文体も違っていた。健太郎本来の独得のかつちりとした字体で綴られている。若い時の日記風である。

「三十歳の誕生日を迎えた。青春との決別。中年入門。区切りあるときなのに、意外にこころも、からだも平静。あと三十年生きればもうけもの、ふと思うこともある。けれども病魔が襲うのでは、一体おれは何のために生きていくのか、管理社会で生き延びられるのか—という憂うつ感、不安がつきまとう。もっと違う思いもある。平凡なおのれの内面と行動を吐露し活字化したいな—、常識の世を破る体験をして思う存分書きなぐろう。記者稼業をやめて選挙に出よう(とても選挙うけするタイプではないことをわかりながら、納得できないからだから!)。そう、土着一辺倒。とりもおさず、徹底した人間本位の思想と行動で。政治不信とそれを生み出す党利党略の動きをおさえ、民主主義発展のために、とかっこよく考える。いや、政治はよそう。とても耐えられない。商売をやろう。黒びかりがする板張りの喫茶店でうまいパンを食べさせるなんていうのはどうだ。もっと手広くやろう! 思い切った多角経営だ。やっぱりだめだ。学究—とでもだめだ。なんでもやれると信じ込んでいた二十代のうぬぼれと若さ、決断力がすでにない。徹底的な土着の雑誌をつくっては、いや、やっぱり、ここ自分、仕事に打ち込もう。おもしろい続きものをやり、機会を見て外国に出ていけば、だが、なんとなく、いつの間にか周囲に壁が何重にも構築され、壁の彼方が見えなくなっていく気がする。とにかく、やろう。なんでも。」

ここでやる気になったのが今後の本の買い方。基本的には現在の仕事に役立つ(実用書ではない)辞書、事典の類を優先する。次に何となく生物、関西、中部に関するもの、そして明治以前の科学技術の資料文献。

日記はここで終わっていた。

真三は一息ついたところで裕美に声をかけた。

「裕美さんはこれを読まれてどう思われましたか」

「私と結婚するずっと以前のことですが、同じような悩みを最後まで抱えていたように思います」

「そうですか。誰もがかなり小なり青春時代の悩みはありますよね。加齢とともに世間を知り、その

波に飲まれていくのが普通です」

「人生って、なかなか思うようにいかないものですね」

「論語では四十にして惑わずとありますが、寿命が延びておりますので、我々の時代は四十歳以降に第二の悩みと言いますか、人間や夫婦関係、仕事、子供、両親などの悩み事がでてきます」



花も咲いては散る(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971
メール: takamitsu@akai-shinbun.net



■プロフィール
著者：岡田清治おかせいじ
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集プロダクションNET108代表
著書に『高野山開創二百年 いっ
ぱんさん行状記』『心の遺言』あな
たは社員の全能を引き出せます
か!』『リヨンで見た虹』など多数)

「そうですね。男の人はやはり仕事でしょうね」

「仕事」生きがいのようなところがあります。我々の次の世代は男女に関係なく生きがいが大きなテーマになっているように思います」

「そうですね。舞の場合もそういうことでしょうか」

「健太郎があれもしたい、これもしたいとつぶやいていますが、ほかの畑の花がきれいに見えるのはいつの時代も同じだと思います。要は選んだ職業に全身全霊を打ち込めるか、どうかでその人の生きがいも定まると思います。最近、面白い映画を観ました」

「どういう映画ですか」

「パオロ・ソレンティーノ監督の最新作『グランドフィナーレ』です。裕美さんも映画が好きでしょう。これ観られましたか」

「いいえ、観ていません。どういう内容ですか」

「人は自分に与えられた人生を精一杯生き、悲喜もごも体験を乗り越え、中には栄光を浴びた人もいる。そして誰もが終焉に向かう。忘却の彼方に消える。そうなる過去の思い出や栄光にすぎる日々を送る。平坦な道を歩んだ人はその落差は少ない。企業のトップに十数年間、君臨した人でも「自分は何をしてきたのか」と晩年に苦悩する人も少なくない。ましてや世界的な名声を博した人の孤立感凡人の比ではない。栄光の頂に登った人の下山は難しい。もう一度栄光を取り戻そうと模索する。それを見事な美しい映像で描いた映画が『グランドフィナーレ』で、人生の意味を考えさせてくれる名画である。」

「世界的に名を知られる指揮者フレッドがリタイア、親友の映画監督とともにアルプスが近くに見えるスイスの高級リゾートホテルでハリウッドスターやセレブらと過ごす優雅なバカンス。そんな中で彼らは過去の栄光によって世間に記憶されているが、人生を下山しながら苦しむ。指揮者フレッドの最後の締めくくりは圧巻である。」

「こういう内容です」

「ぜひ観たいです」

「誰もが死を迎えるにあたって苦しむのですが、世界的に名声を得た人ほど、晩年は寂しそうです。米大統領のオバマは黒人で初めて大統領になった人で、しかもノーベル平和賞をもらっています。最高の人生を送ったのに、しかもトランプ大統領と交代する時の演説はすばらしかったのに、その後ろ姿に寂しさが漂っているように見えました」

「確かに」

「以前の大統領の何人かは牧場に帰っていったといわれています」

「アメリカの原点は牧場ですね」

「そこにあるのは素晴らしい自然に馬と銃、そして牛がキーです。アメリカ人のこころの故郷がそこにあるように思えます」

「牛肉は日本人のコメと同じなんですよ」

「そうだと思います。日米の農産物交渉でアメリカは牛肉の関税にこだわります。日本人には理解で

きないところもありますが、彼らからしたら日本人のコメに対するこだわりは異常に思えるのでしょうか。やはりそれぞれ歴史的背景を理解しないといけないと思います」

「そうですね」

「中国の白居易の放言『権花一日の栄』は、人の栄華のはかないことを伝えています。権花はムクゲの花。この花は朝咲いて夕方にはしぼむので、その華麗さも一日限りで、『権花一朝の夢』ともいいます。人生の終焉は非凡な人も、凡人にとっても難しいが、天と地の開きが生じるといいます」

「人生とはいかに、はかないかを教えているのでしょうね。だからこそ一日いちにちを大切に生きることだと思っています」

「その通りです。ではもう少しメモを読んでみます」この数カ月間の苦しみ、悩みについて(四十歳)燃えない。

まずこの事態に直面した。

女子学生が健太郎と別れてインドへ行く場面が綴られている。

「なるほど、東京時代などにも「やる気」を一時的に失ったことがあった。しかし、それは糖尿という身体的なことに起因したといえる。確かに、大きな仕事(たいしたことはないが、とにかく派手なことも含めてその時はすこいとおもうような仕事)のあとは、多少落ち込むものである。だが、少し間をおくと、もう自らの仕事をみつめて向かっていっていた。やらなきゃ、たとえば同僚のM記者のように「これやろう」とけしかけてきた。今度は少しさぼりぐせがついて、怠けてしまった。一時、出勤するより家にいてじっとしているか、テニスでもしたいと思った。結局はそうせず、給与分の仕事を続けた。これがかえって自分自身を苦しめることになった。」

出張、泊りを繰り返して、東京での激しい取材など身体的にかなり疲れたことが一因であろう。しかし、もっと奥深いところに原因があるように思う。根本的な解決策にならないが、やはり仕事を見つけてぶつかって行くしかない。

ここで次のテーマに移っている。そこで真三は裕美に再び声をかけた。

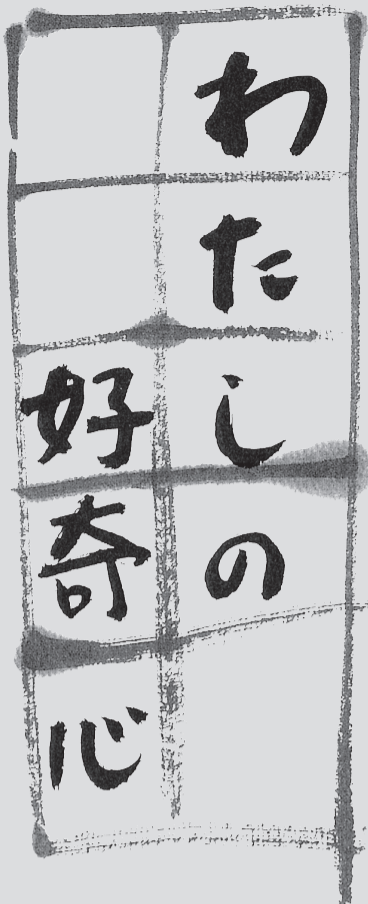
「裕美さんが結婚した時、彼はリタイアしていたので、この内面の苦しみの臨場感はないかもしれませぬね。恐らく東京の社会部で仕事をすること、それも地方から出て行って大向こうの記者やデスクをうならせることは至難のことだろうと想像できます。人一倍ええ格好したい性分の彼なら行き詰ったときに落ち込む谷は深いだろうと思いますね」

「ガンバリズムが健太郎さんのいいところでしょうから、適当に手を抜くことはできないのでしょ」

「それはそうですが、仕事の軸といえますか、仕事を求めるかが定まっていなくて、こういう性分の人は人の倍以上苦しむことになるでしょうね」

「そうですね」

絵手紙 第二集



絵文 縦山善久

返文 小林玲子

縦山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。丸栄陶業株式会社代表取締役。碧南商工会議所会頭。愛知県陶器瓦工業組合理事長。全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。平成十三年藍綬褒章受賞。平成二十二年旭日小授章受賞。丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース大学院修士課程卒業。

小林玲子

碧南市に育つ。西尾市在住。共著「西尾の民話」童話「サケの子ピッチ」随筆「海辺のそよ風」(中経コラム「閑人帳」より) ミュージカル脚本 「みぐりちゃんのおうち」ほか 童話集 「タアタとバアバのたんけんたい」



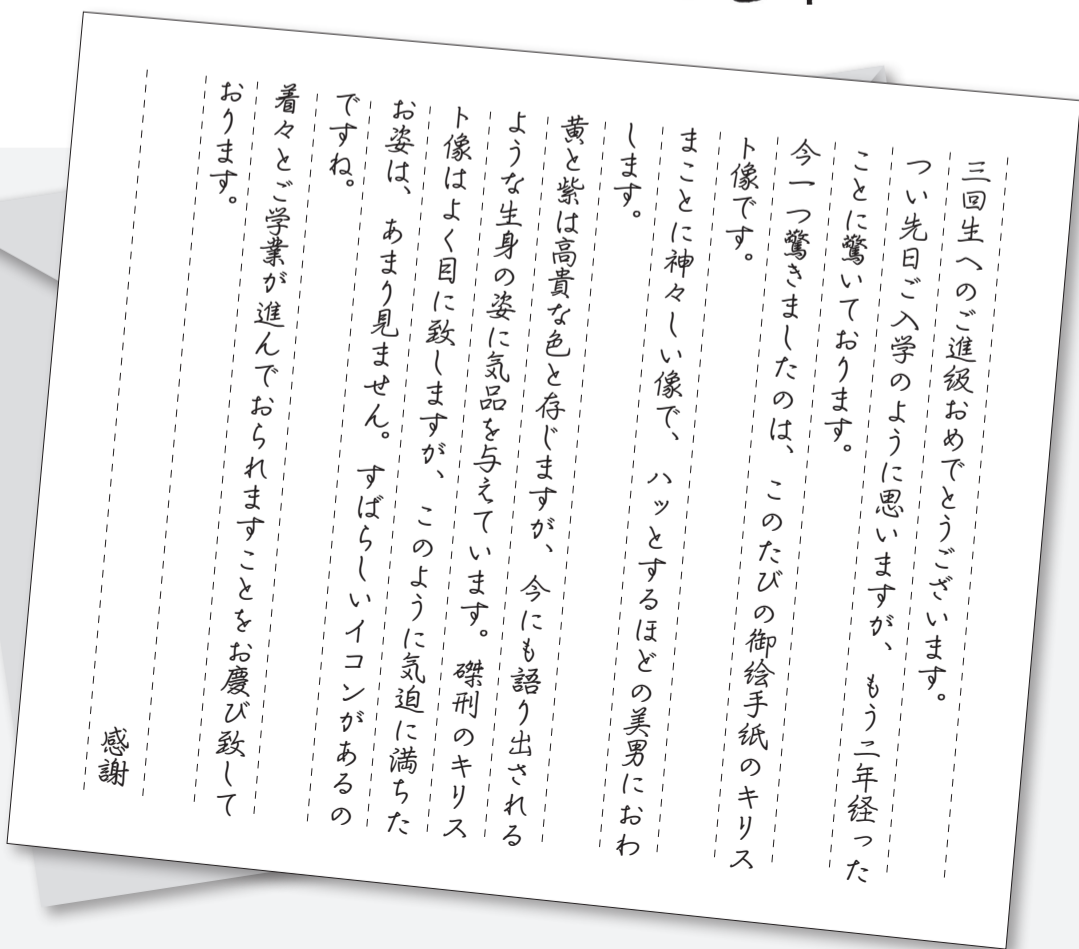
聖エカテリナ修道院のキリストイコン

新学期
美術史課題

難儀かな



四月、京都造形大の三年次に進みスタートははまなれしも、テキストは大変、単位不足は四年次に進級できません。昨年、日本美術史の単位も取得し、本年は西洋美術史とアジア美術史に取組ます。西洋美術史第一課題は、古代エジプトから十五世紀迄、第二課題は盛期ルネサンス以降近代迄、六世紀頃描かれた、聖エカテリナ修道院のキリストイコンを絵手紙にしました。西洋美術と違うのが、ガナキン美術は、人の姿のなかに人を超え、聖なる存在を描いています。



三回生へのご進級おめでとうございます。つい先日ご入学のように思いますが、もう二年経ったことに驚いております。

今一つ驚きましたのは、このたびの御絵手紙のキリスト像です。

まことに神々しい像で、ハッとするほどの美男におわします。

黄と紫は高貴な色と存じますが、今にも語り出されるような生身の姿に気品を与えています。磔刑のキリスト像はよく目に致しますが、このように気迫に満ちたお姿は、あまり見ません。すばらしいイコンがあるのですね。

着々とご学業が進んでおられますことをお慶び致しております。

感謝

知多の動植物雑記(三四三)

原 穰

本来なら、四月を迎え、知多半島の川沿いに咲く満開のサクラの花に魅せられて、「サクラ咲く」言葉どおり、高校や大学、一般社会への入学・入社に「お目出度う、頑張つてネ」と言った言葉が交わされる日々であるのに、今回は少し遅れてし

まい、花の咲く時季が済んでしまったロウバイの事で。先々月の菜の花以来、道端に咲く黄色い花を見る度に一端停止し、「葉のつけ根が茎を抱いているか?」なんて思いが頭の中をよぎり、つい、道端に止まっていたりした。



(1)ソシンロウバイ (2)ロウバイ

でも、二月下旬ともなれば、畑地の菜の花に加えて、樹高二〜三層の小木に黄色い花が満開の木を、目にすることがある。ロウバイだ、きれいだな!とまた止まって眺め入り、写真を撮っている。ところが、行き付けの喫茶店

の畑地に「中が茶色の花があるヨ」と教えられ、緑色の畑地へ出向けば、なるほど、畑地の崖つちに、小高木ながら、薄黄色の花びら。中心部が、褐色の花が咲いている(2)。これぞ正にロウバイだな、と思うことしきり。例によって例の如く、写真をパシャパシャと撮っている。家へ帰り図鑑を見れば、原産地は中国で、江戸初期に渡来し、庭や公園に植えられたものだとか。花びらの外は黄色で、中心部が褐色(写真②)で、梅のような花を咲かせている。名前が、梅に似たロウ細工のような花からとか、旧暦12月(ロウ月)に咲くからなどとされている。

写真(1)は、ソシンロウバイ。素は無地(白)、心は、まん中を意味するが、梨子ノ木の畑地に生える薄黄色の美しい花を知っている人は、誰もがロウバイと言っているが、本当の名はソシンロウバイです。理科の授業じゃあるまいしと言わないうえ。

ちたの哲学散歩道 Vol.1

久田健吉 「谷川徹三の思想①」

最初に哲学者 谷川徹三を紹介します。

谷川徹三は常滑市出身で法政大学の総長を務められました。勲一等瑞宝章を受章し、常滑市立図書館には「谷川徹三文庫」が設けられ常滑市名誉市民として顕彰されています。詩人 谷川俊太郎のお父さんです。(1895 ~ 1989)

しかし、残念ながら今、谷川徹三を研究する研究者は多くありません。過去の哲学者という扱いになっています。しかし谷川徹三は太平洋戦争という激動の時代、価値観・世界観が180度転換する軍国主義から民主主義へと転換する戦前・戦中・戦後を1つの思想で生き抜いた哲学者です。

こんな哲学者は谷川徹三をおいて他にはいません。戦前・戦中の自分の思想を書き換えたり、戦前・戦中の思想を無反省に捨てて新思想家として出発したりした哲学者や戦後を生き抜くことができず没落していった哲学者はいませんが、谷川徹三のように1つの思想を貫きながら戦犯という批判も受けず戦後の民主主義の思想的リーダーとして君臨した哲学者は希有な存在です。学ぶべき点はたくさんあります。谷川の1つの思想の中に哲学とは何かの根本思想が含まれています。その思想とは「文化的無地盤性」の克服という思想です。

明治時代、日本は富国強兵の下で西洋文明を大量に流入させましたがその西洋の科学文明と西洋思想は日本文化とアンバランスにあり日本文化を発展させるものになってはいませんでした。日本は必要性から西洋の文明を輸入したのに逆に西洋文明は日本では文化的地盤を持たないために勝手歩きをし、思想的混乱や頹廢をもたらしてしまいました。この状態を克服されなければならない。どう克服すべきか。これこそが近代日本が担う課題であったと言えます。

「文化的無地盤性」とはこのことを言います。この状態をどう克服していくべきか。谷川徹三はこのことを問題にしその克服の方向性を以下のように示しました。

日本は仏教や儒教を受容し文化の伝統の上に生きづかせることによって日本文化を大いに発展させてきました。今日、アンバランスに見え日本道徳を混乱させているように見える西洋の文明も日本文化の伝統の上に根を張るようになればもっと日本文化を発展させるようになるであろうと思われます。

谷川徹三は東京大学から京都大学に進学し西田幾多郎に師事します。西田幾多郎が日本軍国主義に屈服せずドイツ観念論を学びながら日本哲学の真実の発展を考えたように谷川徹三も屈することなく、西洋文明の文化的無地盤性の克服を問題にしました。日本文化の土台を深く理解し宥和を図り、日本文化を発展させていく。この精神こそが『哲学』なのです。ここにこそ谷川徹三の素晴らしさがあるのです。

次号以降で、日本軍国主義に抗しつつ文化的無地盤性克服に努力した谷川徹三の思想を紹介します。戦後日本の民主主義のリーダーとなった必然性も紹介します。

久田健吉(哲学研究者)プロフィール

1942年(昭和17年)生まれ。66年愛知教育大学哲学教室卒業。72年名古屋大学大学院文学研究科哲学研究教室修士課程修了。74年大同高等学校(教諭)就職。2002年同校退職。知多市や東海市の市民大学で講師を務める。著書「私立工業高校復権宣言(高校出版)」。中日新聞「ともしび」欄に「聖人の思想」を4回にわたって連載。美浜町在住。



ちよつとおじやまします

公益社団法人 自強術普及会 名古屋支部 常滑教室 佐野 幸子さん 知人と居合わせたことが縁で、佐野さんと出会った。凛とした女性には自強術の講師を務めている。佐野さんは冷やが原因のむちうちになっただけで自強術の講師を務めている。佐野さんは冷やが原因のむちうちになっただけで自強術の講師を務めている。佐野さんは冷やが原因のむちうちになっただけで自強術の講師を務めている。



自強術を始めて33年。教室をもつようになって29年。活動は口コミだけで、生徒はとぎれることがない。何だか聞き慣れない『じきようじゅつ』という言葉。『じきようじゅつ』は漢字で書くと『自強術』という字なのだ。自強術は道具もいらない。畳一間のところで出来るものが多い。畳一間のところで出来るものが多い。畳一間のところで出来るものが多い。畳一間のところで出来るものが多い。

とした肩張りの緊張が解ける言葉に私の関心は一層高まっている。好奇心をもつことも大切なことだ。人生の先輩方を見て感じたのも事実だった。自強術の目的は、万病克服の健康体操として始まった。手技療法の天才、中井房五郎氏による創案。1916年のことだった。戦争により、普及が途絶えていたが、その後2人の医学博士らにより再び世に広められた。自己免疫療法や自己治癒力を高め、高齢化が進む日本において、健康で豊かな社会形成に大きく貢献している。現在、約60支部、約4000教室、約55000人の会員がいる。(赤井伸衣)

若竹俳壇

雛祭せめて雛の給掲げよう 着陸音聞こえて来るや寒もどり 雨だれのリズムは春の調べとも 干しズボン春一番でダンスする 緋袴のまだある折り目官女雛 声出して笑う赤子に桃咲けり 道の駅何處も走らず春財布 夢うつつ過ぎゆくくまに大昼寝 春夕焼頂上の城染めてゆく 枝揺らし光と遊ぶ猫柳 大根の引かれて土の空虚かな 銀輪の駆ける山野に春一番 つくしんぼ頭出したか見にゆこか 天愁羅が鼻突き上げる路の臺 グランドの快音ゆるむ初音かな 入れたまま人歯を探る春隣 縄文の遺跡めぐればしだれ梅 春めくや木の芽ふくらみ出番待つ 広告の紙に包んだ路の臺 採れたての若布湯通し酢味噌あえ 春間近孕の叔母の声若し 大ワイパー新横綱の福は内 春遠く三寒四温肌で知る 努力して咲きほこりたる梅の花

- 吉田ひろし 谷川と志江 片岡 光子 杉江 民子 齊藤 浩美 加藤 久子 塚本 千鶴 関 里美 都築 信子 山中 博子 田上 義則 服部 察平 村井 範子 荒川 達雄 桑山 撫子 富田 悦子 江端 久恵 藤井 文月 浦崎ひとみ 杉江 タエ 中山 洋子 清水ドラ吉 柴山 庄山 中村 洋子

- 物・光の箱・まるまるミラーのま んげきょう・光のミステリー 他 限定各三十冊 材料費一 百円/四百八十円 詳しくは お問い合わせください。 ●ギャラリーCera (常滑市観光プラザ) 福永千秋「装う器」・十日(月) 午前九時〜午後五時 杉江陽子「武知かつか・チェン シー」・十日(月) 午後五時〜 九時 午後五時 谷川仁隆展「二十八日」五月 十日(月) 午前九時〜午後五時 ●常滑屋 暮らしに役立つ骨董展 夢創 庫・九日(月) 生活の道具に骨董を、 ちよつとおじやまします。 ●武豊町民会館 武豊町民会館 武豊町民会館 武豊町民会館

わが家のニューフェイス



井本光玲(4才) 光咲(10ヶ月) 吏飛(7才) 武豊町長宗

写真・文	コ	セ	リ	人	も	時	も	手		と	さ	が	こ
	や	て	フ	の	ら	に	の	に		つ	さ	大	ん
	鬼	く	モ	こ	や	は	を	な	か	き	好	に	
	ご	れ	歌	と	を	お	兄	っ	ま	で	き	ち	
	こ	る	や	が	取	う	取	、	り	ず	い	は	
	も	よ	ダ	大	っ	ゃ	っ	お	ち	り	も	お	
	し	早	ス	好	て	ん	て	も	が	す	い	風	
井	遊	一	踊	き	ん	お	遊	ち	ま	い	も	呂	
本	び	緒	、	な	れ	姉	ん	や	立	り	と		
	た	に	て	だ	る	ち	で	気	が	ば	み		
鮎	い	ブ	楽	二	ど	ん	ま	に	上	い			
佳	な	ラン	しま	は	二	お	る	る					

愛と My Family



中井終佑(2才) 常滑市飛香台

写真・文	これ	ばい	僕	さん	に	ん	カ	目		と	じ	り	を	誕	じ	前	こ
	か	遊	ご	遊	い	だ	イ	鑑		見	元	り	見	生	ー	は	ん
	ら	ん	飯	ん	っ	よ	で	や	守	気	モ	た	日	と	中	に	
	も	で	を	で	も	。	遊	D	っ	に	り	り	に	と	井	ち	
	見	、	モ	く	優	じ	ん	✓	て	大	食	、	く	ば	終	は	
	守	元	リ	れ	し	と	だ	D	ね	き	べ	は	れ	一	佑	僕	
中	。	に	モ	る	か	ば	と	ミ	。	な	て	は	、	ば	で	の	
井		大	り	か	く	ー	コ	、		る	、	好	た	達	す	名	
		き	、	れ	れ	は	と	好		い	い	き	動	が			
舞		な	い	た	僕	は	好	ス		よ	っ	な	物	が			



橋詰カ子
■
中根 啓
作品展

EACH GENERATION

それぞれの世代から



2017年 5月11日(木) - 16日(火)
12:00~19:00 **最終日 17:00**

■ 橋詰カ子
京染めシルク糸のニット

■ 中根 啓
創作家具・手染めのTシャツ

表参道ヒルズ西館1F
ギャラリーKOWA
 東京都渋谷区
 神宮前4-12-10
 TEL 03-3408-4897



みんなで楽しく運動する習慣をつけませんか?
常滑 ベリーダンス教室
 Koyomi Belly Dance Entertainment
 お問い合わせ TEL 080-1950-9302



一年中
花いっぱいの
知多エッグの丘へ



**知多の新鮮たまご
発酵ケイファン**

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

